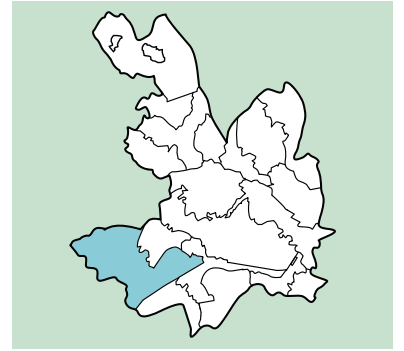


保土ヶ谷西部 地区



【わたしたちのまちの概況・特徴】

- 保土ヶ谷西部地区は、区西部に位置し、今井川流域の低地と、周辺の丘陵部からなる地区であり、旭区・戸塚区に隣接しています。
- 今井町、境木町、法泉一～三丁目で構成され、約5,500世帯、約13,000人が暮らしています。
- 全体として住民の入れ替わりは比較的少なく、多くの方がこの地区に住み続けていると推測されます。
- 保土ヶ谷バイパスや横浜新道などが近くを走ります。
- 多くの方が、バスを利用して相鉄線二俣川駅やJR東戸塚駅に出ます。
- 境木町公園からは、富士山やランドマークタワーを見ることができます。
- 法泉坂が、法泉一丁目、二丁目、三丁目の境を南北に貫いています。
- 今井川いこいの水辺が整備され、水生植物や川の生き物とふれあうことができます。

目標・目指す姿

みんなが
交流する
元気な
まち



ボランティア
に参加する
きっかけが
あるまち

子ども
たちが
豊かに育つ
まち

この4つを目指し、
若い世代とのつながりを
大切にしていきます。

互いの
活動が
見える
まち

地区の取組

★地域活動に関する情報を共有

これまで、「ほっとなまちづくり検討委員会」では、今井小・初音が丘小・橘中のPTAと民生委員・児童委員等が定期的に集まり、地域活動や、目指す姿について話し合ってきました。

今後のポイント PTAが地域の話し合いの場に参加する機会を通して、顔が見える関係をつくり、積極的に情報が共有できるようにしていきます。



ほっとなまちづくり
検討委員会

★地域活動へのPTAの参加

PTAは地域に関わるいろいろな活動をしています。その1つとして、高齢者食事会・さわやかお話し会(茶話会)で、お手伝いをする仕組みが数年前にできました。一緒に食卓を囲むだけではなく、血圧・体重測定、配膳、後片付けなどを通じ、交流が生まれています。楽しんで参加するPTAも多く、こうした保護者の活動への参加がきっかけとなり、「福祉のつどい」で小中学生がボランティアをすることにつながりました。

今後のポイント PTAの活動や地域のイベントを通して、保護者や子どもたちが地域の活動に興味を持ち、参加するきっかけを見つけていきます。



高齢者昼食会

★様々な人々が交流する機会の活用

平成24年度に、三世代交流をテーマにした「今井・法泉ウォーク」を行いました。PTA・民生委員・恵和学園など様々な人々が協力して企画を行いました。PTAの働きかけで子どもたちも参加し、高齢者・PTAと三世代でグループをつくって歩きました。ゴールでは、歩いて新たに発見した地域のことをお互い発表しました。

平成25年度の「第5回福祉のつどい」では、小中学生・高齢者・恵和学園の人々が交流しながらレクリエーションや食事を楽しみました。小学生のダンス披露、小中学生ボランティアによる駄菓子屋さんなども行われ、世代間の交流につながりました。

今後のポイント このように、地域に住む様々な人々が関わる機会を活用し、交流の場を生み出します。また、「参加しやすさ」を意識して、活動の間口を広げます。



今井・法泉
ウォーク



福祉のつどい

～保土ヶ谷西部地区ではほかにも様々な活動が行われています～

配食サービス、子育てサロン、母親ネットワーク、母親サークル、あんしん訪問、ふれあい給食会、救命情報カプセル、健康体操教室、健康講演会、豆まき、新春のつどい、地区社協・連合合同研修会など...